

第3次二宮町環境基本計画（前期実施計画）令和5年度進捗状況に対する委員意見

No.	重点 No.	事業名	意見内容	意見分類
1	1	吾妻山をはじめとする公園等の維持管理と運営を推進	指標がアウトカムになっていないので、近自然工法による登山道整備やナラ枯れの本数減少などを指標にする必要がある。 近自然工法について→ https://note.com/ezorisu/n/nb3feeafde00c	その他 (指標)
2	2	葛川の美化を推進	イベント実施回数の指標よりも、ゴミの量を指標にする必要がある。また、河川にゴミが流入しない仕組みづくりに着手する必要がある。河川環境の状態を測るためにも基準となる生物を定め、定期的に記録するなどのアクションが指標になると感じる。3/29に二宮にお越しになる東大の宮下教授との連携があると良いと思う。 また先日の台風10号の被害を受け、生態系を活用したグリーンインフラの重要性に着目し、気候変動への適応、生物多様性の観点から導入を検討する必要性を感じる。	その他 (指標) 改善案
3	3	生物多様性の保全を推進	こちらもアウトカムになっていないため、実質的な保全で指標にすべき（指標となるような動植物の同定なども河川と同じく行う）。	その他 (指標)
4	5	町民の地球温暖化防止行動を促進	実際の行動を指標にする必要がある。二宮町は家庭部門のCO2排出量が一番多いので、やはりパワーシフトをメイン事業とし、電力を再エネに切り替えた軒数を指標にすべきと感じる。	その他 (指標)
5			・事業内容には、「環境活動団体等との連携…」とあるが、課題や対応からは連携が見えてこない。今後どのように連携し、それが脱炭素にどのように結びつくか、指標を含めて見直す必要があると感じた。（次回以降での要検討事項） ・事業内容達成率100%に疑問を感じました。	その他 (指標) 評価 妥当性

No.	重点 No.	事業名	意見内容	意見分類
6	6	子どもたちの地球温暖化防止行動を促進	「宣言」から「行動」（アウトカム）へ切り替えていくタイミングとを感じる。開催予定のこども気候市民会議を活用して、行動目標を策定し、大人へも波及させて町全体で行動するような指標に変える必要を感じる。	その他 (指標)
7			・マイエコ10宣言については児童・生徒からの回答したものを分析する必要がある。とくに関心が薄いところ、できていないところなど、を明確にし、今後はその数値等の改善を指標にしてはどうか。 ・学校教育に関してなかなか口出しはできないが、教員が時間を割くのが難しいようなら、教科教育の中にちょっと盛り込めるようなアイデア集等を、環境活動団体等と連携して作成して、一助としてはどうか。教育総務課の対応では教員の負担感が増すような気がする。 ・今回の指標から見た評価はAであるが、これが、実際のどの程度児童・生徒の行動変容に繋がっているのかわかりにくい。（指標の見直しが必要）	その他 (指標) 評価 妥当性
8	7	ハザードマップ・防災情報アプリ等の活用を促進	情報収集の大切さは引き続き。ただ、個人的には他のアプリの方が使いやすい事実（NHKニュース防災アプリ）があるため、ハザードンに限定する必要性を感じない。その上で、そもそもの防災・減災の視点で、グリーンインフラや近自然工法でのトレイル整備に舵を切る必要性を感じる。	改善案
9			・気象災害が激甚化している現状、情報の速やかな伝達は必須である。イベントでの普及PRの件数は指標として適切ではないと思う。現状、普及数が指標となっているが、登録が伸び悩んでいるなら、今後は防災訓練等でその場で実際にアプリをダウンロードした人数を指標としてはどうか。その際に年齢などを配慮した普及啓発を行えばよいと思う。	改善案
10	8	熱中症対策の推進	・熱中症対策の情報提供が多い、（搬送患者数の増加）＝状況が悪化している、ことを表していると思う。これが指標となり、数値目標を達成したから評価Aという点に疑問を感じる。「対策を行った」のに「搬送した患者数」が増加している、この状況を解決するためにはどうしたらよいのか、を考えることが必要となるのではないかと。 「クーリングシェルの設置箇所」などを数値指標とした方が、対策の推進になると思う。	評価 妥当性 その他 (指標)

No.	重点 No.	事業名	意見内容	意見分類
11	9	循環型社会の形成を 目指した3R・3S の推進	啓発事業から、実際の仕組み作りに事業形態を アップデートすべきタイミングを感じる。今一 度、キエーロ、コンポスト、量り売りなど、気候 市民会議で生まれた関係性を活かして事業者とも 連携して行うべき。	改善案
12			プラスチックごみもリサイクルできなければCO2に なってしまうため、気候変動対策の啓発と同時に 出来るごみの減量に関する啓発は行必要がある。	改善案
13	11	世界規模、地球規模 での環境問題にかか わる教育・学習の推 進	千年にのみや地球会議も事業に加えることで、よ り多くの機会を提供することにつながると感しま す。	改善案
14			※「新規参加者割合」実績値の単位の誤記 ・実情は必ずしも「新規参加者＝初めて興味を 持った人」ではないので、今後は別の指標を考 える必要があるのではないかと。 （理解度を示すことができる指標というのは …難しいですね。）	改善案
15	12	環境に関する情報提 供の推進	どういった変化を生み出したいか。それに向けてど のような内容の情報を発信したか。それによっ てどのような変化が生まれたかを指標にすべき。	その他
16			・普及啓発に力を入れているのはよくわかる。た だ、情報提供やツールの種類の多さが指標であ ると、つくるだけ、ながすだけになってしまい、下 流側の利用者が置き去りにされる恐れがある。情 報がきちんと伝わっているかを検証する必要もあ ると思う。指標の数値が高ければ（情報提供が多 ければ）評価が高くなる、という評価方法は見直 した方がよい。	その他

No.	重点 No.	事業名	意見内容	意見分類
17	13	体験しながら環境について学ぶ機会の創出	事業11と同じ意見です。	改善案
18	14	環境への想いをつなぐ場づくりの推進	・目標値である開催回数が少ないので、今回は総合評価がAとなるが、今後は、ワールドカフェに限定せず、様々な場面を考えた場づくりを考え、間口を広げる方向に持って行くのがよいのではないかと。	改善案
19	—	—	毎度のことですが、課題に対する対応が「検討する」となっていることが気になります。具体的な対応策を記載できない気持ちもわかりますが、「課題解決のために〇〇を行うことを検討している」となれば前向きに検討しているのことが感じられるのですが、いかがでしょうか。例えば、No.13で「…以外の募集方法を検討する」とあるが、これでは「検討したがなかった」で終わってしまう可能性もゼロではないと思ってしまいます。すべてではなくてかまわないので、一部でも行動の具体案が示されると町民のやる気を引き出せるのではないのでしょうか。 (余計な意見ですが、自戒の念を込めて…) コロナ禍での策定であったため、疑問に思う指標等もたくさんありました。自分自身反省すべき点が多すぎて、意見を書きながら自分で自分の首をしめているような気がしました。今後の改定に向けて、努力します。	その他